



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月4日

上場会社名 株式会社角川ホールディングス（コード番号：9477 東京証券取引所市場第一部）

（URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長兼CEO 氏名 角川 歴彦
 問合せ先責任者 役職名 財務グループ統括マネジャー 氏名 大河原 宏 TEL (03)3238-8401

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（税金費用の計算は簡便法による）
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有（連結：新規2社除外1社 持分法：新規4社）

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	91,515	33.7	6,677	75.5	5,707	39.7	1,919	9.8
16年3月期第3四半期	68,466	3.7	3,804	31.4	4,085	43.0	1,748	79.9
(参考) 16年3月期	91,614		4,834		5,230		2,304	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	74	80	69	77
16年3月期第3四半期	67	96	67	78
(参考) 16年3月期	86	78	86	49

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期第3四半期	138,985	80,197	57.7	3,115	13
16年3月期第3四半期	108,491	75,398	69.5	2,942	23
(参考) 16年3月期	117,783	77,361	65.7	3,015	91

【連結キャッシュ・フローの状況】 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	2,221	11,469	15,413	25,818
16年3月期第3四半期	10	2,605	1,206	29,241
(参考) 16年3月期	4,910	6,036	7,066	19,648

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	121,000	7,000	3,000	116	00

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページを参照してください。

1. 定性的情報等

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関して

当期間（平成16年4月～12月）における日本経済は、政府月例経済報告によれば、11月以降に基調判断が下方修正され、「緩やかな回復」と踊り場から抜け出せない状況で、設備投資、雇用情勢は改善方向にあるものの、個人消費の伸びが鈍化する情勢で推移しました。

出版業界は、社団法人出版科学研究所の調査によれば、当期間の出版物推定販売金額は、前年同期間に比べて、雑誌2.5%減、書籍4.3%増、全体で0.1%増と、雑誌は依然として低迷するものの、書籍は文芸書話題作もあり長期の不振から脱出する傾向を見せ、全体では久々の市場拡大となりました。

一方、映像ソフト業界は、社団法人日本映像ソフト協会の調査によれば、当期間のビデオソフト販売額は、全体で2,910億円（前年同期間比107.9%）、うちDVD2,518億円（前年同期間比125.5%）と成長が継続しており、デジタル家電やメガバンドの急速な普及と相まって、新たなライフスタイルを求めた需要創造が実感されます。

このような環境のもと、当社グループは、出版事業と映像事業を両輪とする「出版と映像の総合メディア企業」としての事業基盤をより拡充すべく、基本方針である多様なコンテンツの創出とマーケティング強化に努めた結果、前年同期間に比べ、増収増益を実現できました。出版事業において、書籍（文庫、一般書及びコミックス）部門の売上が順調に推移したこと、ソフト事業において、映像コンテンツの多角的な活用を企図した戦略のもと、DVD販売及び権利ビジネスが大幅に伸びたこと並びにゲームソフト販売が予想を大きく上回ったこと、デジタルコンテンツ事業において、黒字基調が定着したことが、主な要因です。また、当期間から前期に買収したメディアリーヴスグループの業績が連結の対象となっています。

当期間の連結業績は、売上高915億15百万円（前年同期間比133.7%）、営業利益66億77百万円（前年同期間比175.5%）、経常利益57億7百万円（前年同期間比139.7%）、当期純利益19億19百万円（前年同期間比109.8%）となりました。

連結子会社数は、KADOKAWA ENTERTAINMENT U.S. INC.とKADOKAWA PICTURES USA, INC.を新たに設立し、一方、トスカドメイン(株)が角川映画(株)と合併したことで、合計29社となっています。また、持分法適用関連会社数は、日本映像振興(株)、(株)BBB、シネプレックス・アジア(株)を新たに設立し、加えて、ユナイテッド・シネマ(株)の株式を追加取得したことで、合計12社となっています。

なお、当社株式は、平成16年9月1日に東京証券取引所市場第一部上場銘柄となりました。

各事業セグメントの概況は次のとおりです。

出版事業セグメントは、売上高711億8百万円、セグメント営業利益57億19百万円となりました。

<雑誌・広告部門>

厳しい景況感に伴う低調な業界環境の影響を受けていますが、多様な領域でのブランド力を活かし、市場における認知度の強化に努めています。

テレビ番組情報誌「週刊ザテレビジョン」「月刊ザテレビジョン」（ともに角川書店）、「大人のウォーカー」創刊によりラインナップがさらに充実した都市情報誌「WALKER」シリーズ（角川書店・角川書店北海道）、アニメ・コミック誌「ニュータイプ」（角川書店）、ゲーム情報誌「週刊ファミ通」（エンターブレイン）「電撃PlayStation」（メディアワークス）、ホビー誌「電撃HOBBY MAGAZINE」（メディアワークス）、生活情報誌「レタスクラブ」（SSコミュニケーションズ）、パソコン情報誌「週刊アスキー」（アスキー）等が、それぞれの分野における確固たるブランド力を背景に、好調に推移しました。

<書籍部門>

編集企画力及びマーケティング力の強化策が奏功して、数多くの話題作、ヒット作に恵まれ、好調を継続しています。

単行本は、「ダ・ヴィンチ・コード（上・下）」（角川書店 ダン・ブラウン著）が話題を集め、売上が100万部を突破し、同著者の「天使と悪魔（上・下）」（角川書店）も連動して、売上を伸ばしました。他では、「霧笛荘夜話」（角川書店 浅田次郎著）「約束」（角川書店 石田衣良著）等が、ヒット作品となりました。また、韓国テレビドラマ小説化の「天国の階段（上・下）」（角川書店 バク・ヘギョン著）が発売直後から好調に推移しています。さらに、「年賀状素材集 7000 酉年 決定版」（アスキー）をはじめとする年賀状関連本も好評を博しました。

文庫は、テレビドラマとのメディアミックスにより「新装版 人間の証明」（角川書店 森村誠一著）が再度ヒット作となりました。また、「バッテリー（～）」（角川書店 あさのあつこ著）「夜の果てまで」（角川書店 盛田隆二著）「箸墓幻想」（角川書店 内田康夫著）「キノの旅 8」（メディアワークス 時雨沢恵一著）等が、好調な売上を記録しました。

コミックスは、人気シリーズとして多くのファンに支持されている「新世紀エヴァンゲリオン 9」（角川書店 貞本義行著）「多重人格探偵サイコ 10」（角川書店 大塚英志・田島昭宇著）「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN（7・8）」（角川書店 安彦良和著）「よつばと！（2・3）」（メディアワークス あずまきよひこ著）等が、大ヒット作品となりました。また、テレビアニメとのメディアミックスにより「ケロロ軍曹（1～9）」（角川書店 吉崎観音著）が売上を伸ばしました。

ゲーム関連本は、「ダービースタリオン04全書」「J.LEAGUEプロサッカークラブをつくろう！'04 ファイナルパーフェクトガイド」「ポケットモンスターエメラルド 公式大百科」（いずれもエンターブレイン）「J.LEAGUEプロサッカークラブをつくろう！'04 ザ・マスターガイド」（メディアワークス）等が、ゲーム人気と連動して着実に売上を伸ばしました。

ソフト事業セグメントは、売上高166億81百万円、セグメント営業利益18億84百万円となりました。

劇場映画は、海外出資作品「ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還」（角川映画）が、1・2作に続いて大ヒットしました。

DVD販売は、ドリームワークス提携第1弾「シュレック2」（角川エンタテインメント）が、75万本を超える大ヒットとなったほか、「着信アリ」「陰陽師」「ロード・オブ・ザ・リング/二つの塔」「同/王の帰還」（いずれも角川映画）が、ヒット作品となりました。また、アニメシリーズ「クロノクルセイド」「まぶらほ」（ともに角川書店）等が、根強い人気で好調を維持しました。

ゲームソフト販売は、人気ゲームソフトシリーズ最新作「ダービースタリオン04」（エンターブレイン）が、60万本を超える売上を記録したほか、「機神咆吼デモンベイン」（角川書店）等が、ヒット作品となりました。

また、角川映画では、「電池が切れるまで」等のテレビドラマ制作、豊富な保有ライブラリーを活用したテレビセールス及び権利ビジネスにおいても、着実に売上を伸ばしました。

デジタルコンテンツ事業セグメントは、売上高26億80百万円、セグメント営業利益4億26百万円となりました。

サイト運営ビジネスは、日本最大級のエンタテインメント系情報サイト「walkerplus.com」（ウォーカープラス）が認知度を高め、事業領域を拡大しております。

コンテンツ制作配信ビジネスは、角川インタラクティブ・メディア、角川デジックスが、好調を維持しています。

携帯ビジネスは、「モバイルウォーカー」（ウォーカープラス）「モバイルファミ通（ゲーム情報）」「MelodyClip（着信メロディ配信）」（ともにエンターブレイン）等が、順調に売上を伸ばしました。

物流業、広告代理店業等から構成されるその他事業セグメントは、売上高10億44百万円、セグメント営業利益4億91百万円となりました。

物流事業では、継続して合理化を進めています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関して

資産は、期首に比べて212億1百万円増加し、1,389億85百万円となりました。売上債権が年末要因により、土地が購入により、投資有価証券がドリームワークスアニメーション株式の振替取得により、出資金がドリームワークスへの出資により、それぞれ増加しました。一方、連結調整勘定が通常償却により減少しました。

負債は、期首に比べて181億94百万円増加し、576億82百万円となりました。社債及び短期借入金が新規調達により、それぞれ増加しました。

株主資本は、期首に比べて28億36百万円増加し、801億97百万円となりました。利益剰余金が当期純利益の計上等により、その他有価証券評価差額金がドリームワークスアニメーション株式の時価評価益18億円の計上等により、それぞれ増加しました。

株主資本比率は、社債の発行、短期借入れの設定により総資産及び負債が増加したことで、期首に比べて8.0ポイント下がり、57.7%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことに加え、連結調整勘定償却額、持分法による投資損失等の非支出費用が増大したことで、前年同期間比22億31百万円増の22億21百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、土地の購入、ドリームワークスへの出資等により、前年同期間比140億74百万円減の114億69百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行、短期借入れの設定等により、前年同期間比166億19百万円増の154億13百万円の収入となりました。

合計61億69百万円の収入となり、現金及び現金同等物期末残高は、258億18百万円となりました。

(3) 業績予想に関して

当期間の連結業績は、売上好調と収益力向上が相まって、前年同期間実績を売上、利益ともに上回りました。今後も引き続き、グループをあげて、出版、映像、デジタルコンテンツの各分野で事業展開力の拡充を図り、優良コンテンツの創出と販売に邁進するとともに、事業構造改革をBPRから業態改革へと進化させながら継続推進することにより、一層の収益力向上に努めてまいります。

通期の連結業績予想は、売上高1,210億円(前期比132.1%)、経常利益70億円、当期純利益30億円といたします。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第3四半期 (平成16年12月31日)	前第3四半期 (平成15年12月31日)	増減		前連結会計年度 (平成16年3月31日)
		金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)						
流動資産						
1. 現金及び預金		22,780	24,682	1,901		20,106
2. 受取手形及び売掛金		34,555	26,733	7,822		29,923
3. 有価証券		2,999	7,198	4,199		1,299
4. たな卸資産		8,126	4,918	3,207		6,897
5. 繰延税金資産		1,666	1,005	661		1,780
6. その他		3,566	3,164	401		2,900
7. 貸倒引当金		139	134	5		163
流動資産合計		73,556	67,567	5,988	8.9	62,745
固定資産						
(1)有形固定資産						
1. 建物及び構築物		5,335	5,302	32		5,460
2. 工具器具及び備品		1,192	1,015	177		1,152
3. 土地		10,181	8,505	1,675		8,684
4. その他		232	238	5		188
有形固定資産合計		16,941	15,062	1,879	12.5	15,485
(2)無形固定資産						
1. 連結調整勘定		6,700	1,419	5,281		7,982
2. その他		1,767	1,705	62		2,089
無形固定資産合計		8,468	3,125	5,343	171.0	10,072
(3)投資その他の資産						
1. 投資有価証券		25,874	14,025	11,848		20,018
2. 出資金		4,961	553	4,408		467
3. 繰延税金資産		882	674	207		899
4. 保険積立金		5,994	6,176	181		6,211
5. その他		2,715	1,675	1,040		2,309
6. 貸倒引当金		407	367	40		426
投資その他の資産合計		40,019	22,736	17,282	76.0	29,480
固定資産合計		65,428	40,923	24,505	59.9	55,038
資産合計		138,985	108,491	30,493	28.1	117,783

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第3四半期	前第3四半期	増減		前連結会計年度
		(平成16年12月31日)	(平成15年12月31日)	金額	増減率	(平成16年3月31日)
		金額	金額	金額		金額
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金		21,171	16,181	4,989		20,662
2. 短期借入金		8,201	4,052	4,149		4,022
3. 未払法人税等		1,362	1,520	158		1,517
4. 賞与引当金		389	229	160		1,054
5. 返品調整引当金		2,618	1,611	1,007		2,402
6. その他		8,291	4,913	3,378		5,567
流動負債合計		42,035	28,508	13,526	47.4	35,227
固定負債						
1. 社債		11,400	-	11,400		-
2. 長期借入金		74	431	357		100
3. 繰延税金負債		2,264	1,455	808		2,426
4. 退職給付引当金		1,303	1,057	246		1,206
5. 役員退職慰労引当金		573	468	104		499
6. その他		32	90	58		28
固定負債合計		15,647	3,503	12,143	346.6	4,260
負債合計		57,682	32,012	25,670	80.2	39,488
(少数株主持分)						
少数株主持分		1,104	1,080	24	2.3	934
(資本の部)						
資本金		24,330	24,330	-	-	24,330
資本剰余金		25,374	25,381	6	0.0	25,381
利益剰余金		28,443	26,395	2,047	7.8	26,957
土地再評価差額金		587	587	-	-	587
その他有価証券 評価差額金		4,257	1,251	3,005	240.1	2,672
為替換算調整勘定		541	30	510	-	51
自己株式		1,080	1,342	262	19.6	1,343
資本合計		80,197	75,398	4,798	6.4	77,361
負債、少数株主持分 及び資本合計		138,985	108,491	30,493	28.1	117,783

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第3四半期	前第3四半期	増減		前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	金額	増減率	(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金額	金額	金額		金額
売上高		91,515	68,466	23,048	33.7	91,614
売上原価		66,288	50,915	15,372	30.2	68,423
売上総利益		25,226	17,550	7,675	43.7	23,190
返品調整引当金戻入額		2,402	1,597	805		1,597
返品調整引当金繰入額		2,618	1,611	1,007		1,498
差引売上総利益		25,010	17,536	7,473	42.6	23,289
販売費及び一般管理費		18,333	13,732	4,600	33.5	18,455
営業利益		6,677	3,804	2,873	75.5	4,834
営業外収益						
1. 受取利息		26	33	7		46
2. 受取配当金		90	70	19		70
3. 受取保険金		33	215	182		333
4. 古紙売却益		76	64	11		88
5. その他の		34	31	3		47
営業外収益合計		261	416	154	37.2	585
営業外費用						
1. 支払利息		26	27	0		36
2. 出資金運用損失		-	15	15		70
3. 持分法による投資損失		1,133	70	1,063		54
4. その他の		70	22	48		28
営業外費用合計		1,231	134	1,096	812.2	189
経常利益		5,707	4,085	1,622	39.7	5,230
特別利益						
1. 固定資産売却益		0	0	0		0
2. 投資有価証券売却益		1	-	1		106
3. 貸倒引当金戻入額		14	-	14		-
4. 過年度償却済債権取立額		5	-	5		-
特別利益合計		22	0	22	-	107
特別損失						
1. 固定資産売却損		-	-	-		0
2. 固定資産除却損		66	18	47		85
3. 投資有価証券評価損		193	220	26		174
4. 会員権売却損		2	-	2		-
5. 会員権評価損		15	30	14		49
6. 特別割増退職金		33	19	13		19
7. 役員退職慰労金		-	5	5		7
8. 事務所移転費用		305	-	305		-
特別損失合計		616	294	321	109.4	336
税金等調整前当期純利益		5,113	3,791	1,322	34.9	5,001
法人税、住民税及び事業税		2,995	2,041	953	46.7	2,866
法人税等調整額		-	-	-		172
少数株主利益		198	1	197	-	3
当期純利益		1,919	1,748	171	9.8	2,304

注) 当第3四半期及び前第3四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第3四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年12月31日〕	前第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕
		金額	金額	金額
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		25,381	25,374	25,374
資本剰余金増加高		-	6	6
1. 自己株式処分差益		-	6	6
資本剰余金減少高		6	-	-
1. 自己株式処分差損		6	-	-
資本剰余金期末残高		25,374	25,381	25,381
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		26,957	25,061	25,061
利益剰余金増加高		1,919	1,748	2,310
1. 当期純利益		1,919	1,748	2,304
2. 持分法適用関連会社の 増加に伴う増加高		-	-	5
利益剰余金減少高		434	414	414
1. 配当金		320	323	323
2. 役員賞与金		74	91	91
3. 持分法適用関連会社の 増加に伴う減少高		14	-	-
4. 自己株式処分差損		24	-	-
利益剰余金期末残高		28,443	26,395	26,957

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第3四半期	前第3四半期	前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		5,113	3,791	5,001
減価償却費		1,102	837	1,129
連結調整勘定償却額		1,282	337	422
退職給付引当金の増減額		97	107	256
役員退職慰労引当金の増減額		74	6	37
受取利息及び受取配当金		116	104	116
支払利息		26	27	36
持分法による投資損失		1,133	70	54
投資有価証券評価損		193	220	174
売上債権の増減額		4,523	2,482	1,115
たな卸資産の増減額		1,223	91	52
仕入債務の増減額		351	1,238	508
役員賞与の支払額		76	93	93
その他		1,792	8	429
小計		5,227	1,379	7,133
利息及び配当金の受取額		116	110	124
利息の支払額		28	28	38
法人税等の支払額		3,093	1,471	2,308
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,221	10	4,910
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出		999	2,900	2,900
有価証券の売却等による収入		2,300	4,500	6,200
有形固定資産の取得による支出		2,096	263	499
無形固定資産の取得による支出		431	622	720
投資有価証券の取得による支出		661	212	3,266
投資有価証券の売却等による収入		596	-	163
子会社株式の取得による支出		0	91	7,067
出資金の払込による支出		10,919	0	1
保険積立金解約による収入		413	2,227	2,357
その他		330	31	300
投資活動によるキャッシュ・フロー		11,469	2,605	6,036
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		4,274	36	44
社債の発行による収入		11,382	-	-
自己株式の取得による支出		-	647	647
配当金の支払額		320	323	323
その他		77	200	6,052
財務活動によるキャッシュ・フロー		15,413	1,206	7,066
現金及び現金同等物に係る換算差額		3	12	23
現金及び現金同等物の増減額		6,169	1,376	8,215
現金及び現金同等物期首残高		19,648	27,864	27,864
現金及び現金同等物期末残高		25,818	29,241	19,648

(5) セグメント情報

当第3四半期(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	71,108	16,681	2,680	1,044	91,515	-	91,515
(2) セグメント間の内部売上高	562	159	1,765	2,387	4,874	(4,874)	-
計	71,671	16,840	4,446	3,431	96,389	(4,874)	91,515
営業費用	65,951	14,955	4,019	2,940	87,867	(3,029)	84,837
営業利益	5,719	1,884	426	491	8,522	(1,844)	6,677

前第3四半期(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	55,999	9,185	2,082	1,199	68,466	-	68,466
(2) セグメント間の内部売上高	698	93	1,509	2,348	4,650	(4,650)	-
計	56,697	9,278	3,591	3,548	73,116	(4,650)	68,466
営業費用	53,038	7,973	3,531	3,130	67,674	(3,011)	64,662
営業利益	3,659	1,305	60	417	5,442	(1,638)	3,804

前連結会計年度(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	73,911	13,112	2,878	1,712	91,614	-	91,614
(2) セグメント間の内部売上高	933	189	2,024	3,152	6,299	(6,299)	-
計	74,844	13,301	4,902	4,865	97,913	(6,299)	91,614
営業費用	69,947	11,909	4,729	4,396	90,983	(4,203)	86,779
営業利益	4,896	1,391	172	469	6,930	(2,096)	4,834

注) 各区分に属する主要な製品及び役務

- (1) 出版事業...雑誌、書籍
- (2) ソフト事業...映画、ビデオソフト、ゲームソフト等
- (3) デジタルコンテンツ事業...ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
- (4) その他事業...物流、不動産賃貸等